

「にぎわい」ある港湾事例とその特性の抽出

CASE STUDY OF "ATTRACTIVE AND ACTIVITY" HARBORS AND CHARACTERISTICS EXTRACTION

森本剣太郎¹・鈴木 武²

Kentaro MORIMOTO and Takeshi SUZUKI

¹正会員 博(工) 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 沿岸域システム研究室
(〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1)

²正会員 工博 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 沿岸防災研究室
(〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1)

It is thought that the rapidly development of the distribution and industrial services at harbors had been brought to Japan into the position of an economic power after the war. However, it is expected that the people will hope for harbors to more additionally attractive and active in the future. The aim of this study is to examine the case study of "attractive and activity" harbors and grape to its characteristic from literature research.

It has been identified that "Attractive and Activity" harbors were divided into three types; the huge type, the qualified type and the compound type. Moreover, its basic characteristic was composed of history, natural amusement, experience and others.

Key Words : *Attractive and Activity, Hustle and Bustle, Harbor, Case Study, Characteristics Extraction*

1. はじめに

わが国の港湾は、戦後以降、飛躍的に物流や産業を発展させ、世界有数の経済大国へ導く基盤となった。しかし近年、運輸・流通施設の沖合いへの移動にともなって残された旧来からの港湾施設の老朽化、産業構造の変化に伴う臨海工業用地の遊休化¹⁾、国際競争力強化のため大水深かつ高規格な国際海上コンテナターミナル整備の必要性、廃棄物や浚渫土・建設廃材の処理施設として埋め立て需要用地の確保など様々な理由が相まっており、今後の港湾利用計画のあり方が注目されている。

折りしも政府は、2003年4月の観光立国懇談会の開催、2007年6月の観光立国推進基本計画の閣議決定などを経て、2008年10月に観光庁を発足させた。観光には、文化的交流と楽しさを享受し合うだけでなく、生活の質の充実を担い、地域の魅力に気づき誇りを持つなどの意義も含んだ「住んでよし、訪れてよしの国づくり」が基本²⁾にある。

そこで国土交通省港湾局では、「観光立国」実現の取り組みと連携し、2004年から地域一体となったソフト・ハードの連携政策を重点的・一体的に実施する「みなと観光交流促進プロジェクト」を立ち上げ、2005、2006年にそれぞれ10港を選定し、港を活かした観光振興による地域活性化に向けて、知見を得るべく社会実験の支援を行い、その成果を全国の港湾にフィードバックしている。また、2000年

に海上よりアクセスするヨットやモーターボードなどレジャー船舶のための係留施設「海の駅」の設置、また2003年には道の駅と同等の位置づけであるが港内に限った「みなとオアシス」制度が誕生した。特にここ数年は、双方への登録地が急激に増え、今後、海辺のレジャー・余暇活動の高度化が更に進むものと推測される。

そこで本研究は、港湾機能の経済的側面を評価するのではなく、質的ににぎわっている・活力ある港湾特性を把握することを目的とし、既に魅力的だと周知されている港湾を研究対象に、報告書や書籍などの文献調査によりキーワードを抽出し、その特性を分析した。

2. 「にぎわい」ある港湾の調査方法

(1) 「にぎわい」の定義

広辞苑によると、「にぎわう」とは「①富み栄える。豊かになる。②にぎやかになる。人の出が多い」、また同じ意味合いで頻繁に引用される「活気」とは「活動のもとになる精気。いきいきした元気」と記述されている。本研究では、港湾の便益・費用などの経済効果を評価するのではなく、多くの人々が訪れ、魅了し楽しむ「にぎわいある・活気ある」港湾に注目した。

(2) 「にぎわい」ある港湾の調査方法

にぎわいある港湾の指標として、港湾区域の地価が周辺地域よりも高価か、または港湾区域への入場者数などがあげられるが、前者の場合は産業や物流など商業価値によって地価が変動する可能性が高いことや、港湾の多くが埋立によって建設され初期投資資金の回収目的で高価に設定されているなど、にぎわい・活気とかけ離れた要因が含まれていると考えられる。また、後者の入場者数は、港湾区域の有料施設など特定の施設を除き、広大な港湾区域では把握されていないか、もしくは公表に至っていないためであろうか、具体的な数字を確認することができない港湾が多かった。このように、明確な数値データを得ることができない場合は、分析者の様々な工夫によってデータが収集される。例えば、柴崎ら³⁾は、クルーズ客船寄港地の魅力度を評価するために、「地球の歩き方」の書籍とそのホームページにおいて特定のキーワードが記載されたページ数などを指標とし魅力度の評価点とした。松尾ら⁴⁾は、白水堰堤の造形由来を明らかにすることを目的とし、設計者の設計・施工に対する考え方を把握する過程において、設計・工事担当者が撮影した工事写真の枚数・サイズ・構成などを数値化し考察を行っている。また、苦瀬ら⁵⁾は24港湾の土地利用形態について調査し、港湾の特性と機能更新の考え方について論じている。

本研究では、新聞記事、書籍、報告書やインターネットなどを参考^{6) 7) 8) 9)}に、港湾のにぎわいや活性の状況について、記載されている内容や登場頻度に注視し、にぎわいある港湾およびにぎわいをもたらすキーワードを単純であるが、主観的選定によって抽出した。例えば、北九州港は、報告書・文献・インターネットの情報などから、門司レトロ地区のレトロ・ブランドの定着、観光客の著しい増加、メディアの露出などをもとににぎわっている港湾と判断し、対象港湾と選定した。次に、その港湾の記述内容・計画図・写真から「海峡、ウォーターフロント、連絡船、倉庫、ホテル、デザイナーズマンション、渡船」などの「にぎわい」キーワードを抽出した。分析方法は、膨大な情報をまとめる一手法のKJ法を参考に、類似するキーワード毎に整理・分析することで、特ににぎわっている港湾とキーワードを集め、人々を魅了する特性を把握することとした。表-1に対象港湾の65港湾とキーワードの一覧を示す。また、参考として、2007年の旅客数、取り扱い貨物量およびコンテナ数¹⁰⁾を併せて記す。なお、表中以外にも港湾運用開始年、入港船舶数、管理者、リサイクルポート・海の駅・みなとオアシスの指定有無、埠頭・区域数などのデータも得たが、あくまでも文字キーワードの分析にこだわったため、分析の際に参考程度とした。

3. 「にぎわい」ある港湾事例とそのキーワード抽出の結果と考察

(1) 特定重要港湾など「大規模型」港湾の特徴

表-2に、表-1を整理・分析した結果の一覧を示す。表中の巨大型とは、広大な敷地が広がり、埠頭や地区を多数有している港湾であり、偶然にも全て特定重要港湾に指定されている。大規模港湾は図-1示すように、それぞれ細分化した地区や埠頭(ゾーン)ごとに機能をかなり明確に分割し、管理者によって地区名を割り振られている。旧来の埠頭や地区は、老朽化したことに加え、昨今のスーパーパナマックス型などの大型船に対応できないため、再整備が図られている。しかし、大型船舶の運航に必要な大水深かつコンテナなど貨物搬出入の高度化により、埠頭はより沖側で広大に開発が進められている。しかし、旧来の埠頭は、陸上交通機関との接続が比較的容易であることから、水深が浅くとも運行可能なフェリーや近距離クルーズ船など旅客主体の事業や緑地公園やウォーターフロントなどの親水空間に取って代わりつつある。しかしながら、もとより港湾は物流や産業機能が多くを占め、それらが互いに密接な関係(図-2)にあるが、親水ゾーンは孤立した状態であった。このことは、尾道糸崎港や徳山港鞍地区のように小さな埠頭や地区が複数集まった中小規模港湾でも確認できた。なお、本研究では、旅客は渡航を主目的とした人とし、直接的ににぎわいに反映しないと位置づけた。行楽客は観光、体験、スポーツなどの余暇行動および散歩や買い物など生活活動の一環として利用する人を指し、人流は旅客と行楽客を合わせたものと定義する。ただし、クルージング客は行楽客とする。

(2) 「限定型」の資源利用

限定型とは、地域のイメージや象徴が明確・希少であるが故に、この資源を活用し「にぎわい」を創出している港湾であり、具体例を以下に記す。

冬季の自然条件が厳しい紋別港と網走港は、やっかいものである流水を逆手に取った開発利用を進め、砕氷船によるクルージングを観光の目玉とした。特に紋別港は、親水防波堤「クリオネプロムナード」と沖合い500mに海上と海底から流水を観察できる氷海展望塔「オホーツクタワー」が整備されている。

松島は、古来より日本三景と周知されているとおりの小さな島々がリアス式湾内に点在する風光明媚な観光地である。小樽港と稚内港は、大正時代に建造された運河と防波堤ドームを地域シンボルと位置付け、様々なイベントを開催している。下田港、呉港、長崎港などの港湾は、その歴史深さや町並みなどを積極的に利用し、観光地として知られている。

一方で、富山新港は大型帆船「海玉丸」、境港は妖怪のモニュメントが道沿いに並ぶ「水木しげるロード」、七尾港は海産直売所「能登食祭市場」、福井港と宮崎港はヨットハーバーと海水浴場の組み合わせ

表-1 抽出した「にぎわい」ある 65 港湾とキーワードの一覧

都道府県	港湾名	区分	ハード	ソフト	旅客 (千人)	貨物量 (千トン)	コンテナ (トン数)
北海道	紋別港	重要	流水、展望タワー、流水砕氷船、親水防波堤、海水浴場、博物館、健康ランド、水族館	流水クルーズ、帆船・客船寄港、祭り	83	354	354
	小樽港	重要	運河、ガス灯、レトロ、石造倉庫群、マリナー	歴史、寿司、店舗、博物館、工芸店	254	13,391	1,505
	稚内港	重要	防波堤ドーム、遺産	全天候型イベント、離島フェリー、国際旅客	529	2,276	751
	瀬棚港	地方	風車	養殖、畜養、観光	47	568	383
	室蘭港	重要	鉄道、緑地、倉庫	客船寄港、イベント、倉庫イベント	118	35,745	29,360
	釧路港	重要	直売店、複合施設、全天候型イベント施設、交流施設、芸術館、駐車所	クルーズ、イベント、プロムナード、シャトルバス	6	19,207	19,207
	網走港	重要	流水、世界自然遺産、魚介、ケーソドック、交流センター	流水クルーズ、イベント	221	540	540
青森県	青森港	重要	耐震強化岸壁、物流、水産、海浜公園	客船寄港	354	27,597	3,092
	八戸港	重要	朝市、石油コンビナート、穀物倉庫、食糧倉庫、ガントリー、物流、漁港、水産加工業	朝市、イベント、寄港、ウミネコ自生、ワンコインバス	217	28,220	16,605
岩手県	釜石港	重要	防波堤、閉鎖性湾	リサイクル	4	2,017	2,017
宮城県	松島港	地方	島々、閉鎖性湾	観光地、クルーズ、水質浄化、体験型観光、マリネレジャー、アカモク、海産物	1,210	0	0
秋田県	秋田港	重要	展望タワー、全天候型緑地、長距離フェリー	レストラン、イベントホール、展望所、実習船見学、専門船見学、マリナー	79	9,696	6,905
山形県	酒田港	重要	松林、コンテナ、風車、市場	リサイクル、国際港	34	3,512	3,512
福島県	小名浜港	重要	水族館、市場、観光センター、海浜公園、鉄道、倉庫	花火大会、イベント、倉庫イベント	4	14,791	14,791
	鹿島港	重要	重工業、化学、原料、試料、鉄道、石油タンク、サイロ、ガントリー	砂浜、臨海工業	0	58,519	45,991
千葉県	常陸那珂港	重要	臨海工業、道路、海浜公園、海水浴場	物流	0	4,457	4,457
	館山港	地方	マリナー、海水浴場、鉄道	景勝地、マリンスポーツ、釣り、クルーズ、夕陽百選、体験学習	409	1,159	0
東京都	東京港	特定重要	コンテナ、臨海工業	食料、食料加工、玩具	1,617	90,811	75,111
	横浜港	特定重要	複合タワー、赤レンガ倉庫、緑地、親水護岸、水際プロムナード、地下鉄、道路、ガントリー、大橋	歴史、官民、映画祭、ダンス大会、美術展、大道芸、花火大会、商業店	122	138,194	138,212
神奈川県	川崎港	特定重要	物流、工業、幹線道路、運河、発電所、石油、ガス、緑地、駐車場、ガントリー、テニス	臨海工業、バス路線、食料、衣料、防災拠点	7	91,360	91,360
	新潟県	特定重要	港堤、突堤、白砂青松、海水浴場	イベント	1,635	32,509	21,514
新潟県	岩船港(新潟)	重要	漁港	直売所、レストラン	62	332	332
	富山県	富山新港	重要	帆船、大規模緑地、鉄道、駐車場、野鳥公園、マリナー、交流センター	海洋教育、イベント、花火大会、レース	26	(11,525)
石川県	七尾港	重要	直売所	レストラン、工芸、物産、イベント、シャトルバス	19	4,368	4,368
福井県	敦賀港	重要	コンテナ、原木、石炭、海浜公園、鉄道、倉庫	夏フェスタ	83	17,089	7,130
福井県	福井港	地方	石油備蓄、火力発電	マリナー、海水浴場、イベント、寄港	240	1,953	1,953
静岡県	清水港	特定重要	複合施設、緑地、色彩計画、マリナー、海釣り公園、漁港、臨海工業、運輸、松林、メガフロート、博物館、ボードウォーク	寿司、サッカー、客船寄港、イベント、広報	281	17,926	17,239
	下田港	地方	耐震強化岸壁	観光地、遊覧船、イベント、温泉、歴史	18	21	21
	沼津港	地方	水門、市場	魚介、レストラン街、公園、クルーズ	40	466	466
愛知県	三河港	重要	自動車、幹線道路、リサイクル産業、木造倉庫、マリナー、緑地、干潟、水族館、リゾート、コンテナ、耐震護岸、温泉、釣り公園	地理的中心、自動車	33	30,983	30,983
	名古屋港	特定重要	自動車、ガントリー、水族館	自動車	126	208,041	204,233
三重県	津松阪港	重要	新ターミナル、高速船、道路	空港アクセス	405	1,736	1,736
	宇治山田港	地方	河口港	歴史、文化、神宮、町並み、木造船	1	77	77
京都府	舞鶴港	重要	海浜公園、天然良好湾	国際貿易、城下町、イベント	93	3,701	3,701
兵庫県	神戸港	特定重要	ホテル、商業施設、緑地、タワー	スタンプラリー、クルーズ、ハイカラ	1,827	95,499	68,362
	尼崎港	重要	閘門、臨海工業、物流、道路、鉄道	臨海工業	0	(6,988)	(6,988)
和歌山県	和歌山下津港	特定重要	人工島、リゾート地、テーマパーク、市場、ホテル、温泉、マリナー、海釣り公園、リゾートマンション、臨海工業、石油備蓄、ガントリークレーン、フェリー、親水護岸	南ヨーロッパ、リゾート、花火大会、ショー、広報、みかん、イベント	311	46,170	41,672
	湯浅広港	地方	広村堤防、遺跡	防災、レトロ、古道	0	95	95
鳥取県	境港	重要	工業、漁港	水木しげるロード	144	4,670	4,558
島根県	三隅港	重要	火力発電、工業、ホール、美術館	火力発電、工業	0	2,203	2,203
	西郷港	重要	天然良好湾、離島、漁業	イベント、朝市、動線が悪い	316	1,086	249
岡山県	牛窓港	地方	マリナー、ホテル、海水浴場、ペンション	地中海、リゾート、ハーバー、シーカヤック、海洋スポーツ、体験教室、ツアー、クルージング、レース、街	1	36	21
	宇野港	重要	フェリー、島々、鉄道	24時間フェリー	1,031	51,661	3,478
広島県	尾道糸崎港	地方	貯木場、製材、フェリー、旅客、ウォーターフロント、物流	木材	785	2,914	2,306
	広島港	特定重要	ガントリー	クルーズ、旅客	2,834	15,965	12,555
	呉港	重要	造船、渡船、鉄道	造船、ヤマト	1,108	22,410	18,831
山口県	新港(福山港)	重要	遺跡	歴史、遺産、名勝、国立公園	(100)	(44,687)	(42,803)
	下関港	特定重要	海峡、水族館、ウォーターフロント、連絡船、市場、複合施設	景観、対岸との相乗効果、花火大会、クルーズ	867	8,852	4,410
徳島県	徳山下松港	特定重要	コンテナ、石油化学、コンクリート、物流	臨海工業、リサイクル	346	64,491	62,025
	徳島小松島港	重要	交流センター、直売所	マリナー、クルーズ	346	8,998	3,099
香川県	高松港	重要	複合タワー、木造倉庫、赤色灯台、親水防波堤、鉄道	クルーズ、帆船の見学会、海鮮市、ファミリー釣り大会、市民コンサート、郷土芸能、美術展、うどんフェス	2,201	51,002	2,119
愛媛県	松山港	重要	新ターミナル、駐車場、デッキ	ホール、イベント、バス	1,818	15,748	5,686
	八幡浜港	地方	魚市場	魚介、みかん、朝市、クルーズ、町並みツアー	464	11,921	0
福岡県	北九州港	特定重要	海峡、ウォーターフロント、遺産、連絡船、倉庫、ホテル、デザイナーズマンション	レトロ、歴史、景観、対岸との相乗効果、花火大会、クルーズ	1,838	109,723	66,757
	三池港	重要	工業、閘門、干潟	石炭、リサイクル	61	1,683	1,683
	博多港	特定重要	ガントリー、海浜公園、海水浴場	アジア、国際旅客	2,008	34,250	29,193
長崎県	長崎港	重要	造船、海浜公園、複合施設	レトロ、夜景、オランダ、客船寄港	1,313	2,935	2,358
	佐世保港	重要	軍港、鉄道、道路、海浜公園、島々、フェリーターミナル	米軍、連絡船、離島	723	2,655	2,180
熊本県	八代港	重要	飼料、製紙		51	4,369	4,185
大分県	中津港	重要	自動車、幹線道路		0	3,832	3,832
	大分港	重要	臨海工業、海浜公園、新規ターミナル	ウォーターフロント、イベント	689	66,776	57,850
宮崎県	宮崎港	重要	農産、畜産、道路、海浜公園、マリナー、フェリー、海水浴場		196	8,623	2,478
鹿児島県	鹿児島港	重要	複合施設、電車、連絡船、水族館、海浜公園	旅客、客船寄港、離島	6,777	44,579	7,172
	那覇港	重要	ガントリー、海浜公園、海水浴場	国際中継、イベント	636	9,672	8,739
沖縄県	石垣港	重要	観光旅客、新ターミナル	客船寄港、観光地	1,928	1,582	1,152

※本研究では、新聞、報告書、インターネットなど一般情報からにぎわいの状況やそのキーワードを抽出しており、専門情報誌など特定のキーワードや項目から調べれば、上記に掲載されている内容以上のハード・ソフトウェアは存在する。例えば、朝市は、佐世保港は1箇所や三河港は少なくとも3箇所が港内や周囲で開催されているが、朝市関連書籍での紹介やインターネット上では限定的な記述・検索などで特定・抽出される程度であるため表中では省かれた結果となった。特に、フェリーターミナル、ガントリークレーン、海釣り公園、イベント、花火などは多くの港湾で確認できている。

※旅客数は国内外の合計、コンテナは輸出・輸入・移入・移出の合計。いずれも2007年のデータ

にぎわいを創出している。

(3) 「複合型」によるにぎわい空間の創出

複合型は、限定型のような地域を特徴づける明確なイメージや資源が弱い・存在しないため、2,3程度の複数テーマに集約し、にぎわい空間を創出した港湾の事例である。例えば、小名浜港は老朽化した1,2号埠頭を、観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」や環境水族館「アクアマリンふくしま」へと展開し、観光来客数を大幅に増やした。また、牛窓港は小さいが良好の天然湾にヨット、カヤックなどマリネジャーを受け入れ、また地中海を思わせるリゾートホテルやペンションなどが立ち並ぶ保養地である。このように複合型の多くは、新鮮な海水を多量に求める水族館、魚介を中心とした市場・朝市、海と空の開放感と自然が織り成す景勝、広大な土地が必要となる複合型商業施設などを組み合わせ、人々を魅了する空間へと成長させた。

(4) 「にぎわい」のキーワードの特性

次に、港湾に「にぎわい」をもたらすと思われるキーワードを表-3に整理し、「歴史」、「自然」、「娯楽」、「体験」、「その他」の5つに分けることができた。歴史とは、歴史的に重要拠点であった港や開港が古い小樽港、横浜港、下田港、下関港、長崎港など、産業遺産が数多く残る北九州港、呉港、町並みや景観が美しい小樽港、宇治山田港、湯浅広港、福山港鞆地区など歴史的・文化的要素が色濃く残る港湾である。自然とは、湾と島々が織り成す松島港の風光明媚、紋別港と網走港の流水を積極的に活用した特殊な自然環境である。娯楽は、清水港や高松港など買い物や食事のできる複合商業施設、秋田港や高松港など展望機能を有するタワーの存在、和歌山下津港のようなアミューズメント施設である。また、体験型とは、海と直接触れ合う海水浴、湾内クルーズや釣り、魚介類を購入できる直売所などである。特に、多くの港湾において人工海水浴場や海釣り公園を設置してあった。その他は、豪華客船寄港は多くの港湾で船名や寄港回数を公表イベントを催していたり、清水港や徳島港橋湾などでは施設色彩の統一・調和化を図り、景観を良くする企画である。

余りにも数多く見られたキーワードは、今回の分析では特性キーワードとして抽出することが出来なかった。例として、花火大会、フリーマーケット、地産地消イベントであり、地域に根ざしたイベントで盛り上げていた。これらはNPOやボランティア団体、商工会議所、港湾管理者などの三位一体となって主催されていた。特に、NPO、ボランティア団体などの地元有志が強いリーダーシップを発揮している港湾ほど、にぎわいの度合いが強い傾向にあったと感じた。港に活力と潤いを及ぼした中心的人物を「みなとまちづくりマイスター」として認定するなど、長らく港湾の変遷を見つめてきた地元人材育成

表-2 にぎわう港湾とそのキーワードの一覧

大区分	小区分	キーワード	港湾名	港湾区分
大規模型	歴史・文化	倉庫、レトロ	横浜港	特定重要
		海峡、水族館	下関港	特定重要
	新規	海峡、レトロ	北九州港	特定重要
		色彩計画、複合商業施設	清水港	特定重要
限定型	自然	テーマパーク、リゾート	和歌山下津港	特定重要
		複合施設、タワー	博多港	特定重要
		流水	紋別港	重要
		流水	網走港	重要
	遺跡・歴史	名勝、歴史	松島港	地方
		運河、レトロ	小樽港	重要
		防波堤ドーム	稚内港	重要
		歴史、観光	下田港	地方
		歴史、町並み	宇治山田港	地方
		歴史	湯浅広港	地方
	新規	歴史、ヤマト	呉港	重要
		名勝、歴史	福山港鞆地区	重要
		異国情緒	長崎港	重要
		帆船	富山新港	重要
	体験型	水木しげるロード	堺港	重要
		マリネジャー	福井港	地方
直売所		七尾港	重要	
マリネジャー		宮崎港	重要	
複合型	歴史・市場・新規・保養・展望所など複合的	客船寄港、倉庫	室蘭港	重要
		複合商業施設	釧路港	重要
		朝市、客船寄港	八戸港	重要
		タワー、全天候型緑地	秋田港	重要
		水族館、直売所	小名浜港	重要
		景勝、マリネジャー	館山港	地方
		市場、展望所	沼津港	地方
		歴史、海浜公園	舞鶴港	重要
		リゾート、マリネジャー	牛窓港	地方
		タワー、複合商業施設、市場	高松港	重要
朝市、町並み	八幡浜港	地方		
複合施設、水族館	鹿児島港	重要		

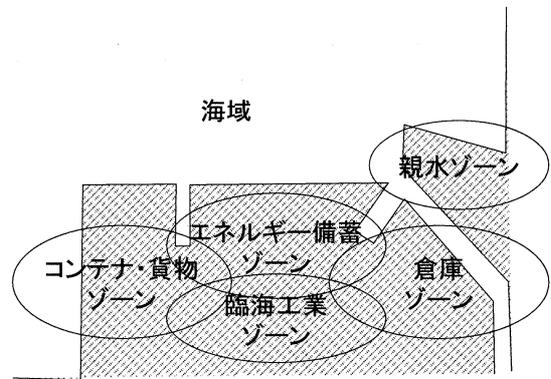


図-1 特定重要港湾など大規模港湾における埠頭・地区と機能のゾーニング

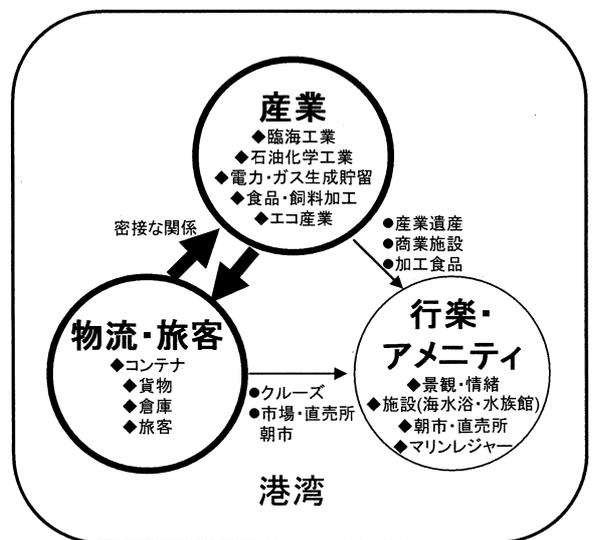


図-2 港湾機能と関連性

や地域活性・再生運動を支える体制づくりの強化も必要であり、彼らが地域興しの担い手となり持続した賑わいをもたらすと期待される。

4. 議論

物流でなく人流においては、旅客が多い港湾ほど「にぎわっている」と必ずしも言えない結果となった。これは、現状のフェリーターミナルはあくまでも旅客機能に限定されており、渡船目的以外の魅力的な機能が少ないためである。しかし、高松港はターミナルのすぐ側に親水防波堤「高松港玉藻防波堤」、全体が赤色に光る灯台「高松港玉藻防波堤灯」、タワー「高松シンボルタワー」、緑地「ハーバープロムナード」、複合施設「サンポートホール高松」などが集約して立地している。他にも、長崎港は親水護岸とマリーナ「出島ハーバー」、緑地公園「長崎水辺の森公園」、複合施設「出島ワーフ」が、鹿児島港は緑地公園「ウォーターフロントパーク」、複合施設「ドルフィンポート」、水族館「いおワールドかごしま水族館」など人々が楽しむことのできる施設が、旅客ターミナルと隣接している。これらの港は、古くから本土と離島を結ぶ生活海上交通基地であったことや、鉄道や汽車などの陸上公共交通機関とのアクセスが非常に便利であるため、旅客ターミナル機能以外の生活・娯楽機能が必然的に、伝統的に集まってきたと推測する。また、同じく生活海上交通を担う広島港、佐世保港、松山港は、陸上交通のアクセスの容易さや緑地広場はあるものの、生活・娯楽施設が近くではあるが隣接していないため、にぎわいが前述の3港ほどに至っていないと思われる。なお、離島旅客数が多い東京港、新潟港、神戸港、広島港などは、特定重要港湾に指定され、多機能を有しているため就業目的など様々な理由により行楽・アミューズメントとの結びつき明確でなかった。

ただ、旅客が多い港湾は、単なるターミナル機能に限らず、人が訪れるからには一時的でも留まらせる要素・機能を追加し、滞在時間を延ばすことでも十分ににぎわい・活気づくと思われる。その提案として市場の消費者への開放を勧める。生花・生果・魚市場などは港湾内に立地していることが多い。一般に市場は、卸し・仲買が中心な役割であるが、築地市場のように隣接した場所（場外）では小売り店や食堂、佐世保港では朝市などと消費者にも門徒を広げている。大抵、港湾背後には多くの消費者が住んでおり、彼らを港湾エリアと呼ぶことで、大いににぎわいが増すと考えられる。人々の食欲・購買欲を刺激する市場の開放、直売所や朝市の設置は投資が比較的安価な有効手段だと考える。

また、旅客のない地方港湾であっても、埠頭や地区が複数有する港湾が存在することも得た。さらに、

表-3 港湾の「にぎわい」の基本要素一覧

基本要素	キーワード
歴史	歴史背景, 産業遺跡, 町並み, 景観, 文化
自然	風光明媚, 特殊自然環境
娯楽	複合商業施設, タワー, テマパークなど
体験	マリレジャー(海水浴, クルージング, 釣り), 直売所・朝市, 温泉, 水族館
その他	豪華客船寄港, 色彩統一

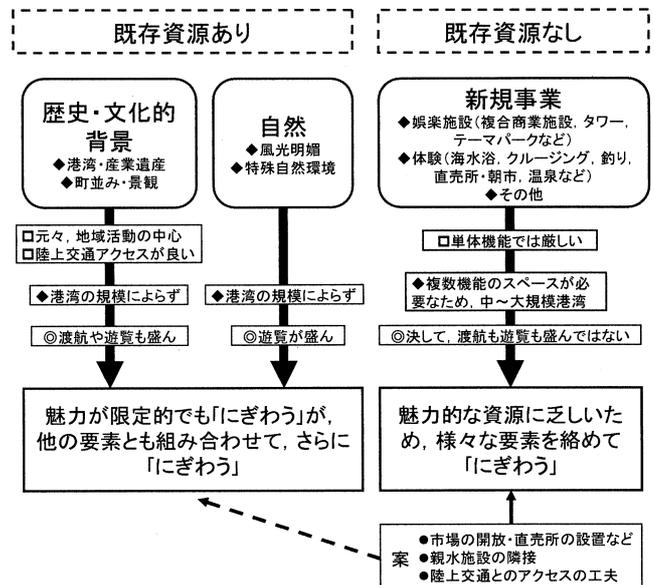


図-3 既ににぎわっている港湾とその基本要素の関連性

港湾が施工された最初の埠頭などは比較的アクセスが容易である傾向も得た。今後の港湾計画においては、まずは、アクセスが容易な場所を、住民が気軽に憩える場所として確保し、次に住民、民間、行政の3者で中長期の地域独自のビジョンを練って欲しい。しかし明確な将来性を見出せない場合は、緑地広場を設けることを勧めたい。これまで海の側に広大な広場は無かったため初めは利用方法に戸惑うであろうが、その地ならではの祭りなどのイベントが大なり小なり続けば、地域の風土にあった新たな方向性も見えてくると思う。

しかし、離島では、港湾敷地が手狭になっている印象を受けた。このため、住民が何がしかのイベント開催を試みるという発想自体も生まれにくい。また、今回調査を実施して、僅かばかりの緑地しかない港湾もあった。エネルギー基地や臨海工業地としての役割もあろうが、せめて港で働く人の厚生施設の一役として、緑地や遊歩道を整備して欲しいところである。なお、図-3は、本研究で既に「にぎわい・活力」ある港湾とそれを構成する基本要素を簡潔に記した図である。

5. 結語

本研究は、「にぎわっている・活気ある」港湾について文献調査を実施し、事例とそのキーワードを抽出・分析した。本調査は、事例とキーワードを記事や文章から拾い上げるという客観性に乏しい手法であるが、「にぎわい」という数値化しにくい指標であることを考慮すると、簡便な調査手法としては有効だと思う。また、歴史的・文化的に情緒あふれる港湾は遺跡などの希少性が潜在的価値を高め、また景勝地など自然豊かさは、その荘厳な存在が人々の心を強く打つため、今後にもぎわいが持続すると思われる。しかし、「にぎわい」を追求した港湾づくりは、今、着手したばかりであり、歴史や自然に依存しない新規施設を整備した港湾は、仮に港湾から離れた内陸や交通基点などの場所に同程度の生活・娯楽関連施設が開発された場合、今後どのように発展していくかは不明瞭である。現に、今回取り上げた港湾の中には、にぎわいが以前よりも鈍化しつつある報告もある。今後も調査・研究を継続することで、人々が集いし「にぎわい・活気」のある港湾が増えると考えられる。

最後に、明治以降多くの港湾が次々と開港し、高度成長期を支えつづけた。しかし、物流手法の簡略化や生産機能の効率化、埋立地の継続供給による空間の創出と、埠頭などの老朽化や高規格の流通システムへ変貌している。平野の少ない我が国において、これほどの平坦なスペースで、なおかつ住宅地や都心部から近く海と接する場所は極めて少ない。このため、このタイミングで如何に港湾の再開発を進めるかは、今後の「にぎわい」に大きく左右するもの

と予測され、既ににぎわっている港湾を参考に、地域に見合った事業計画を期待する。

参考文献

- 1) 長尾義三：沿岸域と港湾空間利用計画手法の展望，土木学会論文集，第401号/V10，pp.1-12，1989.
- 2) 観光立国懇談会：観光立国懇談会報告書（骨子），内閣府，<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko/index.html>，2003.
- 3) 柴崎隆一，米本 清：クルーズ客船寄港地の魅力度評価に関する研究，国土技術政策総合研究所資料，No.466，2008.
- 4) 松尾和人，星野祐司，小林一郎，本田恭寛：白水堰堤の設計と建設について，土木史研究講演集，Vol.24，pp.269-274，2004.
- 5) 苦瀬博仁，黒澤 肇，中川義英：特性分類にもとづく地方都市の港湾の形態的分析，日本沿岸域会議論文集，Vol.1，1989.
- 6) 共同通信社：地域を元気にした港 50 選，共同通信社，2005.
- 7) 岡本哲也＋日本の港町研究会：港町の近代化－門司・小樽・横浜・函館を読む－，学芸出版社，2008.
- 8) 小林照夫：日本の港の歴史－その現実と課題－，成山堂書店，1999.
- 9) 国土交通省：みなとまちづくりガイドブック，国土交通省，2005.
- 10) 国土交通省：港湾調査（年報）平成18年統計資料，国土交通省総合政策局，<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/kowan/kowan.html>.